

平成30年7月22日  
今週のベストショット



青松園A レッドサンデーズ 対 雁の巣ライナーズ戦  
六回を投げ抜き、見事10年ぶりの勝利を手にした雁の巣ライナーズ今林貢投手。  
写真:三苦ホーネッツ 井手 涼次朗

青松園A ライナーズの劇的サヨナラ勝ち！

レッドサンデーズ (3勝4敗) 020010 3 塚本、古賀●-八島  
雁ノ巣ライナーズ (3勝2敗1分) 010003X 4 今林 (貢) ○-明瀬 (航)

3BH:八島 (レッド) 2BH:古賀2、増田 (レッド) 久保田 (雁ノ巣)

盗塁:増田2、田浦、近藤 (レッド) 明瀬 (旭)、明瀬 (航) (雁ノ巣)

雁の巣ライナーズ先発の今林 (貢) 投手は、立ち上がり、緩急を上手く使った投球で初回を3人で打ち取り流れを作る。対するレッドサンデーズ先発の塚本投手は、先頭打者に死球を与え、盗塁と進塁打で二死三塁のピンチを招くも、四番中口選手をライトフライに抑える。二回表レッドは先頭の四番八島選手が左中間三塁打を放つと、五番前田選手が三遊間を破り先制する。更に八番田浦選手のタイムリーで追加点を挙げる。しかしその裏、ライナーズは安打に小技を絡め、二死一、三塁のチャンスを作ると、九番三船選手がしぶとく一二塁間を破りすぐさま1点を返す。三、四回は両チームランナーを出すも要所で踏ん張り点を与えない。しかし、五回にレッド二番近藤選手がヒットで出塁し盗塁を成功させると、三番古賀選手がレフト線へ運び貴重な追加点を挙げる。このまま終わるかと思われた六回裏のライナーズの攻撃にドラマが待っていた。この回から登板したレッド古賀投手から、先頭の三番久保田選手の二塁打を足がかりに、中口選手の犠牲フライで1点差に詰め寄り、更にヒットと2四球で二死満塁の大チャンスを作る。一打出ればサヨナラの場面でタイムリーを放っている三船選手に打席が回る。フルカウントとなり、迎えた6球目。外角に外れたボールをしっかりと見極め、押し出しの四球で同点。こうなれば流れは完全にライナーズへ。続く一番明瀬 (旭) 選手がセンターへヒットを放ちサヨナラ勝ち！ライナーズが土壇場で3点を奪い、勝利を掴んだ！ (記事・写真:三苦ホーネッツ 井手 涼次朗)



雁の巣ライナーズ先発の今林貢投手。



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



二回表、先制打のレッド前田選手のたくましい後ろ姿。



軽快にゴロを捌くレッド川原（正）三塁手。



最終六回裏に登板のレッド古賀投手。



逆転の口火を切る二塁打、ライナーズ三番久保田選手。



犠牲フライを放つライナーズ四番中口選手。



バットを飛ばしてしまったライナーズ太田選手。



同点となる四球を選ぶライナーズ三船選手。



明瀬旭選手のサヨナラ打の歡喜に沸くライナーズ。

### 雁レク軟式7 初回からの乱打戦を制したのは・・・

三友クラブ (7敗) 400100 5 中内●、平田、足達一谷崎

奈多フェニックス (3勝3敗) 24001x 7 太田○ー今林(誠)

HR: 平岡 (三友ク) 2BH: 実延 (彰) (奈多フ) 盗塁: 坂本 (結)、松尾、中内、平田、平岡 (三友ク)

試合は初回から、お互い八番バッターまで繋がる乱打の開幕になった。一回表三友クラブは、先頭バッターがいきなりセーフティバントで出塁し、その後も四球一つ、安打三つ、盗塁二つが飛び出し一挙4点をもぎ取り、流れを掴んだかに見えた。しかし、その裏の奈多フェニックスは、二番、三番の連続出塁に、相手ピッチャーの送球エラーで1点を得る。さらにバッテリーエラーも加わり計2点を取り返し、なんとか流れを渡さない展開となった。続く二回表三友クラブは、安打、四球と出塁を重ねるも要所を締められ0点に抑えられる。ピンチを凌いだ奈多フェニックスはその裏、ここぞとばかりに2安打、2四死球で一挙4点を勝ち取り逆転に成功した。巻き返したい三友クラブは守備から代わって入った平岡選手が四回の一打席目で右中間を破るソロ本塁打を放ち1点差に迫る。しかし五回裏、負けじとフェニックスも実延(彰)選手の二塁打にエラーも加わり一死三塁からパスボールで追加点を取り、点差を2点に広げ三友クラブを突き放す。完全に流れを掴まれた三友クラブは、最終回到四球と盗塁でスコアリングポジションにランナーを進めるも返すことが出来ず、初回からの乱打戦となったこの試合は奈多フェニックスに軍配が上がった。(記事: 三苦フレンズ 御手洗 介登、写真: 御手洗 文男)



熱帯夜の余熱が残る中、試合開始!



初回いきなりバントを決める坂本選手。



一回表、先制のレフト前を放つ三友クラブ四番松尾選手。



二回表、盗塁を決める三友クラブ中内選手。



セーフティバントを決める福島選手、本日2安打！



代打で登場の平岡選手が初打席で見事HRデビュー！！



フルスイングの西藤選手、結果はサードフライ。



合計年齢 104 歳のフェニックスバッテリー！お疲れ様でした！

**奈多グラウンド 天気にも恵まれたサンデーズ打線が繋がりジャガーズに快勝**

塩浜ジャガーズ (2勝5敗) 002100 3 立石●、久保田ー末永

奈多サンデーズ (3勝3敗1分) 31030X 7 砂場○、江口ー野々下

HR : 野々下 (奈多サ) 3 BH : 久保田、末永 (塩浜ジ) 2 BH : 砂場 (奈多サ)

盗塁 : 田中 (塩浜ジ) 江口、野々下 (奈多サ)

暑すぎずいい天気であったこの試合、初回奈多サンデーズ砂場投手が四球でランナーも出すも無失点で抑え

た。一回裏サンデーズの攻撃、四球と内野安打でチャンスを作り四番野々下選手！ライト方向への目の覚めるような弾丸ライナーでHRを放ち3点先制。反撃したい塩浜ジャガーズは三回相手のエラーで出た田中選手が盗塁でチャンスを広げ四番佐藤選手、五番末永選手の連続タイムリーで2点を返した。四回表サンデーズベンチは、二番手江口投手を投入して要所要所を締め無失点の好投。最終回、何としても逆転したいジャガーズは2本のヒットで二死二塁のチャンスを作り、この試合三塁打を打っている久保田選手に打席が回ったが、サンデーズ江口投手がまたも要所を抑えゲームセット。ジャガーズ7本サンデーズ6本と安打数ではジャガーズが上回ったが、四球などで作ったチャンスをものにしたサンデーズに軍配が上がった。(記事・写真：三苦三球会 半田 晃大)



両チーム挨拶、ジャガーズは総勢20名。



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



一回表、先制の3ランを放つサンデーズ四番野々下選手。



四回表、サンデーズ二番手江口投手が登板。



三塁打を放つも最終打者となったジャガーズ一番久保田選手。



久保田選手は投手でも登板。

## 青松園B 1安打にて5得点！勝利の明暗は連続四球！

奈多クラブ (5勝1敗) 400100 5 今林(瑠)○—安河内

新町ウインズ (4勝2敗) 000000 0 早田、藤田●—今林

盗塁：安藤(一)2(新町ウ)

猛暑が続く中の曇り空、ここまで4勝1敗同士の奈多クラブVS新町ウインズにて試合開始。暑さのせいか、試合開始挨拶も選手の顔にはすでに疲れが(笑)。ここまで先発にて立ち上がりの良さをみせていたウインズ早田投手、一回表奈多クラブは、先頭打者の一番今林(祐)選手が四球で出塁、続く二者が連続で倒れナイスピッチングかと思われたが、ここから四者連続四球にてノーヒットにて2点献上。八番山中選手を迎えるときにエース藤田投手に交代。しかし直後のサードエラーにてさらに2点献上し、奈多クラブは相手投手の乱れから初回到4点を先制したこうなると、奈多クラブ先発の今林(瑠)投手には十分すぎる得点で、圧巻の奪三振ショーが始まった。一回裏新町ウインズの攻撃は、バットが空を切り三者連続三振。チャンスは三回裏、一番、泉(太)選手がセンター前で出塁、続く二番安藤選手はお家芸の足をいかした内野安打にて出塁。クリーンアップにつながるチャンス到来だったが、三番藤田選手、四番桐島選手が連続三振で、絶好の得点チャンスをものにできず無得点。一方の奈多クラブは、藤田投手から得点を追加できず迎えた四回表、制球が定まっていなかった藤田投手が八番山中選手より三者連続四球。続くこの日唯一のヒットを打っている二番今林(賢)選手のショートゴロの間に1点追加。何とかしたい新町ウインズであったが、この日は今林(瑠)投手を攻略することができずゲームセット。終わってみると、12奪三振に倒れなすすべなしであった。早田投手、藤田投手で与えた四球は、こちら12四球と試合結果は一目瞭然の結果であった。敗れたウインズの安藤監督談であるが、”すべては監督の采配ミス”です！と選手を労っていた言葉が印象に残りました。

また、この試合の中で、ジャッジ判断が難しい事項がありましたので共有しておきます。

奈多クラブの二番今林(賢)選手がバント内野安打で出塁した際に、そのまま二塁へ向かうときにオレンジベースを踏んで向かったところ、ウインズさんより白ベースを踏んでいないとアピールプレイがありました。奈多クラブからは一塁に戻ったのだからセーフという意見がありましたが、結論はアウトといたしました。その後、ルール上はセーフであると確認をとりましたが、試合の中でのアピールプレイがあったことで審判はアウトを宣告したという形でした。皆様はどのように判断されますでしょうか？

(記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真 阿部光廣)



試合開始挨拶。



一回表、奈多クラブはノーヒットで先取点。



二回表、本日チーム唯一のヒット、今林賢人選手。



二回裏、スイングの速さは一品、ウインズ永淵選手。



三回裏、絶好のチャンスだが、こちらも空を切る。



四回表、本日のラッキーボーイ今林賢人選手！



四回表、サードライナーを反応すばやくキャッチ吉浦選手。



五回裏、バントの名手！安藤一步樹選手。



五回裏、絶妙のチェンジアップにバットが空を切る。



本日のヒーロー！今林賢人選手、今林瑠生投手！

## 第13週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第13週、7月22日は4試合が行われました。

青松園Aのレッドサンデーズ対雁の巣ライナース戦は、ライナース現エース有馬投手不在で、往年のエース今林貢投手が先発すると初回3人で切って取る。六回を3失点で抑え、最終会のライナースは、この回から抑えて久しぶりの登場の古賀投手を攻めて、満塁から押し出しで追いつくと一番明瀬旭選手が決勝点を挙げ、今林貢投手に10年ぶりの白星をプレゼント。四番の宇野選手も不在の中、一丸となったライナースが3-4Xで勝利。

雁レク7の三友クラブ対奈多フェニックス戦は、未だ未勝利の三友クラブが4点先制するも束の間、二回で逆転を許してしまう。三友クラブはフェニックスを上回る安打数だったが、投げては前回のレッド戦で好投した太田投手が要所を締め、5-7でフェニックスの勝利。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対奈多サンデーズ戦は、初回奈多サンデーズ四番野々下選手の3ランでリードするも、四回表に1点差に追いつかれる。しかしその裏野々下選手のタイムリーなどで3点を挙げ、追いつがるジャガーズを3-7で振り切った。

青松園Bの奈多クラブ対新町ウインズ戦は、奈多クラブは1安打ながら12四死球とウインズ投手陣の崩壊で5点を挙げた。一方ウインズは4安打（3内野安打）を放つも無得点。5-0で奈多クラブの勝利。

記録的な猛暑が続く中、冷房をつけたままで喉や体調を崩さぬよう、水分をしっかり取って睡眠を取りましょう。